令和２年度　第３回中津川市立図書館協議会　会議議事録

日時：令和３年３月２５日　15：30

場所：中央公民館　２－１学習室

**「中津川市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき公開した。**

* 傍聴人０名

出席者（15名）

■委　員（8名）

近藤 信幸、桑澤 芳江、竹入康治、荻山由子、松木詠史、

松原 槇子、田中孝一、小倉尚美、

■事務局（4名）

文化スポーツ部次長 松井嘉之、

図書館長 小池孝子、係長 原美佐子、主任 山内瑞稀(記録)

■説明員(2名)

　　まちづくり推進室室長　草野順樹、主任 吉田真唯子

**１　開　会**

**２　あいさつ**

**３　報告事項**

**（１）令和３年度文化スポーツ部の「方針と重点」について（資料１）**

松井文化スポーツ部次長：(資料説明)

会長：質問やご意見等あればどうぞ

委員：藤村記念委員会はどうなるか。去年は中止されたが、今年はやってほしい

松井文化スポーツ部次長：実行委員会で進めていく。昨年、島崎藤村宅が日本遺産に登録されたのもあり、開催していきたい

会長：子どもの読書についてはどうなっているか

松井文化スポーツ部次長：読書推進を進めていくにあたり、GIGAスクール構想として児童ひとりに１端末支給される計画となっている。その中で読書の在り方等ついても議論を進めていきたい

**（２）令和３年度図書館の「主要事業」と「予算」（案）について（資料２）**

小池館長：(資料説明)

会　　長：ご質問ご意見あれば

会　　長：今年コロナでいろいろな事業ができなかったが、予算、事業もふくめて、新図書館関係の事前の準備が必要なのではないか。来年度から予算化していくと思ったが、どうなっているか。

小池館長：現在ICタグを導入予定で、本館の資料17万冊への張替えについて業者と協議を行っている。タグにも種類があるが、多くの図書館で採用されているタイプのものを採用予定。タグの張替えについて工程を作成中だが、どのタグを使うか決まっていないので、決まり次第やっていく。作業としては張替えとデータ登録については一年以内で開館中の作業でも完了できるとのことなので計画していく

松井次長：ハード面については基本レイアウトができた時点で、本来は整備していくが、どのシステムを入れていくか協議が詰められなかったため、本年度予算には計上できなかった。電子化することによる職員の配置計画等もあわせて検討を進めていきたい。スケージュールについては決まり次第協議会にも相談していきたい

会　　長：作業については委託にするのか等詰めていく必要があるが、準備は早めに進めるにこしたことはない

委　　員：開館しながらやれるとのことだが、ブックサポーターを養成しておき、新館移転のときに協力してもらっていくのがいいのではないか。いままでのサポーターがあまり活用できていないと思うので考えていって欲しい

小池館長：今までのブックサポーターは現在の図書館での活動が前提だったが、今後は新たな図書館での活動を前提に養成を行っていきたい。最近は参加者が減っていたが、工夫しながら募集していきたい

委　　員:各図書館の利用状況についてはどうか

小池館長：要覧に蔵書数と貸出数について掲載があるが公民館すべてまとまった情報となっている

委　　員：各図書館で展示等の工夫があると思うが実際の利用につながっているか気になった

会　　長：人口あたりの貸出数はどうなっているか

小池館長：ひとりあたり3.82冊。少しずつ落ちてきている。今年はコロナもあったためさらに減っている

会　　長：新たな図書館のPRを進め、サポーターや利用者の増加に努めてもらいたい。図書館でそういった中身を打ち出していく必要がある。若手に参加を励行してもらいたい。情報コーナーや担当コーナーなどもその過程でできていくと思われる。ブックサポーターもいろいろな活動があると思うが、明確に市民に出してもらった方が参加しやすいと思う

小池館長：ジュニアサポーターが現在10名ほど活動している。部活のように活動しているが、こういった経験を大人になったときに糧にしていってほしい

**（３）子ども読書活動推進計画進捗管理について（資料３）**

原 係 長：(資料説明)

会　　長：わかりにくいと思うが質問等含めてお願いしたい。第1次は数値的な目標が多かったが、第二次はそうではないため分かりにくいかもしれない。未実施となってしまった理由は何か

原 係 長：外部とかかわる部分が特にできていないと今回分かった

会　　長：生涯学習活動がなかなかできていない部分は人が足りていないというのもあると思う

小池館長：外部に向けての活動がほとんどできていなかった。障害のある人、外国の人などいろいろなニーズも調査を進めていきたい

委　　員：市民病院のリサイクルボックスに子ども向けの本がたくさんあったと聞いた。病院と連携して、病気の人や子ども向けに図書を提供できないか

小池館長：今回、病院に相談してみたが、コロナの関係で共有の図書が置けないとの回答があった

委　　員：病院に行く人は病気に関する本も見たいと思う。そういったことをPRしていくのもよいと思う

会　　長：コロナの関係で色々な場所に置かれた共有の本が撤去された。そういった世情の変化に伴い図書館もアンテナの張り方を変え、ニーズを調査していってほしい。進捗管理を行ったのち、中身も変えていってもらう必要がある

委　　員：以前高山の図書館で、山間の学校でバスを出し、中央館の見学をしていた。そういった経験をさせてあげれば子どもたちの意識も変わるのではないか。中央館から遠い地域の人が新図書館は必要ないと言われないように、中央館について知ってもらうのも必要だと思う

小池館長：図書館見学ということで、近場の学校のほか、落合、坂下などもバスや電車を使って来てもらっていた。今年もクラスを分割してでも見学の依頼があった。

松井次長：これから電子化が進むにつれて紙の図書が疎遠になるのではないかと議会でも質問があった。紙の本とともに電子書籍もコロナの対策のため進めていく必要がある。子どものころからの読書経験がその後を決めると思う。コロナもあるが、図書館でも本の除菌機を導入する、遠隔地でも本が借りられる有料のサービスなども計画している

**４　その他**

**（１）（仮称）市民交流プラザについて**

草野室長：(資料説明)

会　　長：ご意見等あればお聞きしたい

委　　員：前の図書館の提言書も関わっていたが、財政面は大丈夫か。補助金等もあると思うがコロナの関係もあり不安。

草野室長：様々事業と被るため、苦しいが、補助金等も利用するほか、できる限りコストを抑えて実現していきたい。現在ハードの部分について進めているが、運営面について、皆さんと検討していきたい。サービスの向上についても予算と見合わせながら検討してきた。市の関係団体とも協議しながら、組み立てていきたいと思っている

会　　長：プラザの運営体制については図書館が主体となって進めていける施設であってほしい。子育て等も入るが、文化スポーツ部の関わりはあると思う。施設長についてもやる気のある人を公募してほしい。2年のうちに職員に手を入れる必要があると思う。再雇用等も行い新図書館でやる気のある人の登用を行い、職員にも厳しくしてもらいたい。現在の図書館がそのまま移動するのではなく、新しい施設に新しい職員を設置してもらいたい。公務員だからそのまま雇い入れるというようなのでは緊張感がない

委　　員：図書館の人は司書の資格を持っていると思うが、現行の人事では全く資格が役に立たない部署に飛ばされることもあると思う。専門職として意欲をもって働ける人事をしてほしい。中津川は文化に特化した市だと外部の人からも見られている

委　　員：ハードについてはよくわかったが、ソフト面、学習室の通信環境としてはどうなっているか

草野室長：全館フリーWi-Fiを導入予定で、スマホやパソコンも使っていただける形　　　にしていきたい

会　　長：電子書籍等も館内で利用できるようになるのか

草野室長：そうなります

委　　員：細かい要望について締切等あるのか

草野室長：方向性の要望としては4月上旬くらいにはほしい

委　　員：おはなしのコーナーについてあまり物を置かないようにしてほしい

草野室長：コンセプトとしてその方向性で進めている

委　　員：1階の音が2階に響いてしまうのではないか

草野室長：建物コンセプトとしてにぎわいのある施設にしていきたい。静かな空間として学習室などを設置し、動と静の区分けをしていく

　**５　閉会**